

土木



建設部 都市計画課
都市整備班 技師 西村 穰

経歴 採用7年目

- H30年 建設部 都市計画課
都市整備班
- H29年 北秋田地域振興局 建設部
保全・環境課 河川保全班
- H27年 北秋田地域振興局 建設部
保全・環境課
森吉ダム管理事務所
- H24年 入庁
秋田地域振興局 建設部
工務課 工務第一班

ある日のスケジュール

- 8:15 出勤
- 8:30 朝礼・メールチェック、
国・都道府県からの情報収集
- 10:00 大館市と土地区画整備事業の
本要望について打合せ
- 12:00 昼食
- 13:00 打合せの準備
- 13:30 秋田市と土地区画整備事業の
実施計画変更の打合せ
- 15:30 東北地方整備局と次期整備
計画について電話での打合せ
- 16:00 本日の打ち合わせ内容のとり
まとめ
- 17:15 退庁
- 18:00 帰宅、子供と入浴

わたしの職場はこんなところです

都市計画課では、都市、景観、公園に関する事業を、課長をはじめとする行政事務職、土木・建築の技術職総勢11名で管理しています。都市計画事業は、ソフト面・ハード面のどちらを取っても事業規模が大きく、多様性があります。

秋田県の街づくりに興味がある方はぜひ都市計画課へ！

わたしは今、こんな仕事をしています

市町村が施行する土地区画整理事業を担当し、国(国土交通省)との調整を行っています。

土地区画整理事業とは、今ある不整形な土地に新たに道路や公園等を作って土地を再配置し、安全で快適な環境を整備する事業です。現在秋田県では、秋田市、大館市、横手市において土地区画整理事業を施行しており、早期完成に向けて各市の担当者と連携して取り組んでいます。

市町村が施行する土地区画整理事業は、県が認可する立場にあり、国から交付金等を受けて実施しているため、国との調整は非常に重要です。私は、その中で、市町村と情報共有を図りながら事業の管理を行い、国へ提出する資料の作成に関して助言を行っています。

秋田県のここが好き！

人、自然、食、すべてが豊かで魅力的です。また、一戸建て率が全国1位、学力もトップレベルである点を考えると、子育てをする上で秋田県は最適な環境だと思います。

土木職のやりがいはこちら！

自分が生まれ育った街を、自分の手でより良い環境に整備できることが土木職の醍醐味だと思います。計画から完成まで全てに携わることができるのは行政だけです。

以前、何も知らない友人から、ある交差点の改良工事のおかげで非常に快適になったと話されたとき、それは自分が担当した工事であることを話すと、とても感謝されました。

それが一番この仕事にやりがいを感じた瞬間でした。

オフは何をしていますか？

県庁バレーボール同好会に所属し、仲間と汗を流しています。また、年に一度、東北や新潟へ1泊2日の遠征に出かけ、そこで各県のバレーボール部との交流大会を行っています。夜は親睦会が開催され、各県の地酒を嗜むことができます。

採用試験の準備はどのようにしましたか？

専門試験対策を重点的に行いました。過去問は非常に重要です。類似した問題が繰り返し出題されていますので、過去問は暗記してしまうのがおすすめです。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

秋田県は課題が山積みですが、それだけやるべきことが多くあり、逆に考えれば可能性に満ちていると思います。

ぜひ私たちと一緒に秋田県を開拓していきましょう！

土木



仙北地域振興局 建設部
保全・環境課 道路保全班
技師 原田 彩

経歴 採用4年目

- H30年 仙北地域振興局 建設部
保全・環境課 道路保全班
- H29年 由利地域振興局 建設部
企画・建設課
河川・道路建設班
- H27年 入庁
由利地域振興局 建設部
企画調査課 企画調査班
- H25年 民間企業勤務

ある日のスケジュール

- 8:00 出勤
- 8:30 朝礼、メールチェック、
委託業者と電話で打合せ、
本庁からの調査のとりまとめ
- 10:00 道路の補修要望があった箇所
の現地確認へ
- 11:45 帰庁
- 12:00 昼食
- 13:00 担当する橋梁補修工事の進
捗状況確認へ
- 15:00 帰庁
工事の施工方法に関して上司
に報告・相談
- 15:30 委託・工事の設計書・図面等
の作成
- 18:30 退庁
- 19:30 バトミントンの練習に参加
- 21:30 帰宅

わたしの職場はこんなところです

仙北地域振興局建設部保全・環境課は、「道路保全班」、「河川保全班」、「下水道班」、「鎧畑ダム管理事務所」で構成されており、仙北地域(大仙市、仙北市、美郷町)で県が管理している道路や河川、ダム、下水道の維持管理業務を行っています。

私が所属する「道路保全班」の班員は9名で、その内2名が女性職員です。

わたしは今、こんな仕事をしています

県が管理している道路関連施設の維持管理業務を担当しています。劣化した道路や橋梁等の補修工事を発注し工事監督を行うほか、住民の方からの道路に関する要望対応も行っています。

また、大雨等による災害で道路が被災した際には、速やかな復旧を図り安全を確保しています。

秋田県のここが好き！

方言が好きです。仕事ではあまり使いませんが、家族や親しい友人との会話では秋田弁がよく出ます。聞くと気持ちも和みますので、秋田弁はこの先もずっと残していきたい文化です。

土木職のやりがいはこちら！

前所属では、道路の拡幅工事やバイパス計画の検討などスケールの大きな事業を担当していましたが、現在は道路の補修事業や住民の方からの要望対応を担当しています。

事業規模は違って、どちらも県民の方々が安心して快適に生活するために欠かすことができず、その重要な仕事に携わっているというところに大きなやりがいを感じます。

また、自分が工事監督員として整備を担当した道路や河川にも愛着が沸きます。

入庁してから何か大変だったことはありますか？

大学で土木を専攻していたものの、上司や業者さんの話す土木用語が分からず苦勞しました。今でも日々学ぶことがたくさんあります。

しかし様々な経験が次の工事に必ず生きてきますし、所属を超えて上司や先輩がアドバイスしてくれたり、同僚と情報交換したりと、周囲と協力しながら仕事に向かえる環境があります。

オフは何をしていますか？

秋田ノーザンハピネッツの応援に行っています。選手の熱いプレーから元気をもらえますし、ハピネッツブースターがつくる、会場の一体感がとても好きです。

ホーム戦での県民歌の合唱は試合前からじーンときてしまいます。

秋田県職員として働く魅力をおしえてください

本庁と県内8地域振興局に異動の可能性がありますので、出身地以外の地域で秋田の良さを再発見できます。

また、取得しやすい休暇制度と職場の理解があります。異動に際しては、それぞれの家庭環境に応じて、ある程度勤務地を配慮してもらえるとこちらも魅力だと思います。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

やりがいのある仕事ができますし、福利厚生が充実していますので、仕事もプライベートも両立しながら働くことができます。

まずはインターンシップ等で仕事の内容や職場環境について知ることが大切だと思います。